

主な活動の紹介

1 地域（関係機関）との連携を強める取組

萩東中学校区青少年健全育成協議会への情報提供、萩市文化・生涯学習課などの関係機関や民生委員・児童委員、保育園園長、各児童クラブ指導員代表者への地域協育ネットの説明等により、地域と学校との連携強化を図っています。

2 地域との連携により生徒の力を伸ばす取組

ボランティア（推進委員や保護司、民生委員・児童委員）による「3年生の面接練習」では実践的な面接指導、「調理実習」では、器具の使い方等の安全・衛生面での実技指導、アドバイスが行われました。



「3年生面接練習」

3 幼保・小・中の連携

(1) 小中連携教育推進協議会

萩東中学校区内の小・中学校が連携し、学習面、生活面での共通実践項目を策定し、9か年の学びの継続性を見取り、見届けを行い、児童生徒一人ひとりの夢の実現を図ることを目的として立ち上げました。

(2) 保育園や小学校への交流

吹奏楽部や合唱部、体験活動部が校区内の保育園や放課後子ども教室、児童クラブ、小学校、地域の行事に参加し、演奏や人形劇の披露を行っています。また、校区内の小・中学生の交流を目的として、椿西小学校区の小・中学校とPTAを中心にした希望者により、しいたけの収穫と鍋を囲んで交流会を行いました。



椿西小学校との交流（吹奏楽部）

成果と課題

学校だよりの配布や関係機関への説明、地域とともに伸びる学校づくり講演会により、地域住民の地域協育ネットへの理解が深まりました。「3年生の面接練習」や「調理実習」ではボランティア（推進委員や保護司、民生委員・児童委員）の協力により、一人ひとりの生徒に対してきめ細かな指導ができたことで、生徒に達成感が生まれ、生徒の自信につながりました。また、ボランティアの方々には、生徒の学習の様子を知るよい機会となりました。



「小中連携推進協議会」

小中連携教育推進委員会では、「組織」として「誰が指導しても子どもたちに同じように響く一貫した指導を一層心がけていこう」という意識が生まれてきました。また、保育園や小学校との交流では、互いの親近感が深まるとともに、小学生の中学校生活への不安感の軽減や期待感の増大につながりました。

今後の取組

来年度は協働して取り組める体制づくりを更に構築することをめざし、学校と萩市役所や萩市社会福祉協議会など、萩市の関係機関や団体との連携をさらに深めていきたいと思ひます。そして、これまで以上に、より多くの地域住民の方が学校とかかわり、生徒のボランティア活動など、学校が地域に貢献する取組を進めたいと思ひます。

さらに、萩東中学校区青少年健全育成協議会を拡大し、「地域の子どもを育てる連絡協議会」（仮称）を設置し、幼稚園、保育園、小・中学校、教育委員会や文化・生涯学習課等の関係機関、町内会や民生委員・児童委員等の地域組織と連携した萩東中学校区地域協育ネットへ発展させ、15か年で子どもを見守り、育てていくことができるしくみづくりを研究・推進していきたいと思ひます。